

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月15日	作成者名	大山 水帆	評価者名	石橋 功吏
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	企画財政部・デジタル戦略室
分野	04 地域の情報化	関係課	
施策	77 地域情報化の推進		
施策の目的	市民の誰もが行政情報の入手などにおいて、利便性を享受できるよう、情報化を進めます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	地域イントラネット事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
戸田市ホームページ利用件数（アクセス/月）	市民に対して行政情報を提供するに当たり、有効な手段である	アクセス	70,000	60,000	63,910	77,146	76,593	89,327	153,046
電子申請・届出サービス利用件数（手続き数/年）	電子市役所として、市民の利便性向上に向け、有効な手段である	件	3,000	2,000	2,381	3,029	4,874	5,969	9,892
公共施設予約システムの利用者登録（登録者数）	電子市役所として、市民の利便性向上に向け、有効な手段である	登録者	2,000	700	2,935	4,392	7,252	8,743	9,512
その他施策の取組事項に係る成果	AIを活用したクラウド型スマート窓口システムの実証事業を行い、市民がスマートフォンから行政手続きができるサービスを導入した。自宅にいながら各種証明書が取得でき、市民の利便性を向上することができた。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	誰でもインターネット上で問題なく情報を取得できるよう、アクセシビリティに配慮した市ホームページとする必要がある他、有事の際の安定的な情報提供が求められている。 また、オープンデータについて、地域課題の解決のために活用されることを前提としたデータ提供を行う必要がある。	対応策	電子サービスの提供において、障がい者や高齢者などを含め市ホームページ上で誰でも問題なく情報を取得できるよう、アクセシビリティの向上が必要であり対応を進めてきた。今後も更なる向上に向け対応を進めていく。 オープンデータについては、県と市町村が保有するデータを一元的に集約し公開する埼玉県オープンデータポータルサイト等の更なる利活用を検討し、広域化を図る。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	市ホームページのアクセシビリティの向上や重要回線（ネットワーク）の変更を行い、情報基盤の安全性の確保と、より使いやすい・分かりやすい情報提供を行うことができた。今後も、アクセシビリティの向上を図り、より良い情報提供のサービスを提供できるように努める。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	多様化する市民ニーズを捉え、情報提供の充実を図るには、新たな仕組みやシステムの導入（行政手続きのオンライン化や、はんこレス化、ペーパーレス化、キャッシュレス化など）が必要であり、維持管理する人員並びに経費の検討を要する。
→		

(評価者コメント)

情報化を推進していくには、安全な情報基盤の上で、利用される情報の提供が求められているとともに、市民ニーズも多様化している中で、情報技術の進展を適切に捉え、費用対効果を意識しながら、情報提供の充実を図っていく。 また、更なるアクセシビリティの向上により、誰でも問題なく情報を取得できる環境を整備していく。
--

